



▲京阪東ローズタウン・ファインパーク

省エネルギー設計の追求

分譲マンションの設計において、断熱性能の向上に配慮するなど、省エネルギー設計によりお客さまに優れた経済性をお届けすることはもちろん、エネルギーの使用を抑え、CO₂の発生を削減することにより、地球環境の保護にも配慮しています。

「京阪東ローズタウン・ファインパーク」では、「次世代省エネルギー基準」に基づき、断熱性能の向上に配慮しており、より少ないエネルギーで快適な生活を実現しています。

SI住宅の採用

SI（スケルトン・インフィル）住宅とは、長期間の耐久性と間取りなどの変更のしやすさを併せ持った集合住宅のこと。建物を構造躯体（スケルトン部）と設備内装（インフィル部）とに分離し、配管設備などの劣化しやすい部分のリフォームを容易にしました。そのため、従来は平均寿命が20数年と言われていたマンションを、100年以上長持ちさせることが可能になりました。

解体と新築の繰り返しという無駄を減らそうというSI住宅の発想は、地球資源への配慮に他なりません。当社では、「くずはタワーシティ」と「京阪東ローズタウン・ファインパーク」で採用しています。

工事騒音・振動への配慮

マンションや造成などの工事の際に使用する機械は、国土交通省告示で指定されているものを採用。また、騒音や振動を軽減するための運転方法の追求、さらに作業員への意識づけなど、きめ細かな教育を実施しています。

工事における環境影響を削減

賃貸施設の工事では、設計段階から環境に配慮。

チェックシートを活用して該当項目を抽出し、環境影響を減らす方法を検討しています。また、発注時にもその意図を伝え、より環境にやさしい工事を実現しています。

さらに、工事に伴う産業廃棄物の処理についても、マニフェストに基づく管理を徹底。適正な処理によって、環境への負荷を抑えています。

緑化推進による環境との共生

分譲マンションにおいては、緑の豊富なランドスケープを実現するとともに、屋上緑化にも力を入れています。

屋上緑化は、都市部のヒートアイランド現象を抑えるだけでなく、建物自体の断熱にも効果を発揮します。さらに、住まう人の憩いのスペースとしての役割も果たしています。

「京阪東ローズタウン・ファインパーク」では、敷地の30%以上を緑化し、約4,300㎡もの広大な中庭を設けています。

雨水の有効利用

水も地球の大切な資源のひとつ。ところが、工業化や環境破壊によって、水不足が国際問題化しています。

当社の分譲マンション「くずはタワーシティ」では、こうした状況に対応するため、雨水を有効利用した灌^{かん}水利用システムを採用し、マンションを彩る植栽への水やりなどの場面で活用しています。

コンポスト処理による生ゴミ削減

企業から出る膨大なゴミを焼却することで、ダイオキシンやCO₂が発生し、環境に悪影響を与えています。

「京阪東ローズタウン」の事務所では、こうした状況を少しでも改善するために生ゴミの削減に着手。生ゴミ処理機によって生ゴミを分解し、コンポスト（堆肥）として再利用を図っています。

環境配慮への意識向上

省エネルギーや環境保護の実効性を高めるうえでは、そうした取り組みに対する平素からの社員の意識が大きな役割を果たします。

そこで、社用自動車から離れる際には必ずエンジンを切る「アイドリング・ストップ」運動を推進。ダッシュボードにステッカーを貼付することで、社員一人ひとりの意識向上を図っています。



▲社用車

アイドリング・ストップ
実施中
自動車から離れる時は、必ず
エンジンを止めましょう！！

▲ステッカー

一般廃棄物の保管改善

当社が運営するテナントビルでは、一般廃棄物の再資源化を容易にするべく、分別排出、分別保管の徹底を各テナントに提案。

各テナントのご理解とご協力により、理想的な環境保全活動を推進しています。